

# 千年の森便り No.226

2022.07.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

7月18日（月祝）晴

朝、豊英島に向かう途中は車の窓にポツポツ雨粒が当たっていましたが、天気は急速に回復し夏の日差しを浴びての活動になりました。今回は、竹下さん所有のドローンによる豊英島の空撮からスタート、予定していた相対照度調査、コナラ更新林の歩道の刈り払い、ナラ枯れで枯死したコナラの伐採、植物調査などを行いました。ご参加いただいたみなさま、暑い中での活動お疲れさまでした。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、坂本、清水、竹下、中田夫妻と裕士君、成沢、福島の会員13名でした。（福島）



## ○ドローンによる撮影

豊英島を上空からドローンで撮影しました。ドローンは、私物の DJI Mavic Pro Platinum を使用し、所定の手続きを全て済ませた上で、安全に充分配慮した上で飛行しました。



ドローン DJI Mavic Pro Platinum



ドローンによる空撮の説明(福島)



ハンドキャッチ(坂本)

撮影は、事前に iPad 上のアプリで設定した高度やルート等に従って自動で行われ、途中で雨に降られたり猛禽類に襲われたりもせず、島の中心部分を含む約 4 ヘクタールほどの面積を 5 分程で撮り終えることができました。

今回は、試し撮りを目的としたテスト飛行でしたが、概ね良好な撮影結果が得られました。今後は撮影範囲や飛行ルートなどの微調整を経て、定期的に撮り貯めていきたいと考えています。（竹下）



テスト飛行で撮影された豊英島

## ○相対照度調査

ドローン調査のあと、着葉期の相対照度調査を行いました。広場に集まり測定機器の操作方法を説明したあと測定箇所を分担し、10:40 頃から測定を行いました。調査には照度計 8 台、トランシーバ 4 台を使用し、参加者は 10 名でした。

測定箇所は、2014 年まで測定していた巨木林植生保護柵内の 25 地点と、千年広場、コナラ更新林の苗畑とヒメコマツ植栽地、岬のヒメコマツ植栽地の計 29 地点です。林外の対照とする照度は、障害物がほとんどない吊り橋の上で測定しました。相対照度は、橋の上の照度を 100%とした時の、各地点の照度の比率 (%) です。照度は刻々と変化するので、林内と橋の上で同時に測定するためにトランシーバを使用しました。なお、相対照度はバラツキが大きいいため、各地点で 4~6 回の測定を行い、その平均値を各地点の相対照度としました。



横 1 列に並び巨木林の照度調査

表 1 に巨木林柵内における各測定点の相対照度を、表 2 に巨木林柵内 (25 地点の平均値) を含めた全測定点の相対照度の変化を示しました。巨木林柵内の相対照度は、最大が 6.8%、最小が 2.1%、平均が 4.1%でした。巨木林エリアはナラ枯れにより林床が明るくなった所が増えましたが、巨木林柵内は 2014 年までと比べて大きな変化はありませんでした。表 2 の経年変化では、2 箇所のヒメコマツ植栽地と千年広場中央は 13~34%と比較的高い値でしたが、コナラ更新林の苗畑、巨木林柵内は 4~5%と低い値でした。(福島)

表 1 巨木林植生保護柵内の相対照度 (%) (2022.7.18)

	1	2	3	4	5
1	2.1	5.9	2.4	6.7	6.5
2	2.2	3.3	5.1	5.6	5.3
3	4.8	4.2	3.8	2.2	5.3
4	3.8	6.8	4.3	4.3	3.1
5	4.3	3.7	3.4	2.6	2.1

表 2 島内 5 地点の着葉期の相対照度の変化

測定箇所	相対照度 (%)						
	着葉期	着葉期	着葉期	着葉期	着葉期	着葉期	着葉期
	2016.8.21	2017.9.18	2018.7.16	2019.7.21	2020.7.19	2021.7.18	2022.7.18
千年広場中央	26.8	33.9	21.1	14.1	22.9	15.9	22.5
コナラ更新林の苗畑	5.7	22.4	13.0	-	12.6	18.2	5.0
コナラ更新林ヒメコマツ	48.5	47.1	41.6	28.8	36.0	26.3	33.6
岬ヒメコマツ	28.3	30.7	37.6	40.8	32.5	28.7	13.2
コナラ伐採地	38.0	45.7	30.7	27.9	21.8	29.4	
巨木林柵内	(2014年までの6回の平均は1.9%)						4.1

コナラ伐採地は20地点の平均値、巨木林柵内は25地点の平均値

## ○ナラ枯れ被害木の伐木

被害木伐採作業は、午前中にコナラを 2 本、午後に 4 本、合計 6 本を伐採しました。作業者は、苅米、伊藤、福島、鶴沢、中田家お父さんと裕士君、竹下、成沢の 8 名でした。



伐木作業

玉切作業

今回は、午後の作業中に危ない事案がありました。クサビを打ち込んでいる最中に、頭上から枯れ枝の落下がありました。幸いにも作業者に激突せず地面へ落ちましたが、危ない事案でした。クサビを打ち込む振動で、枯れ枝の先端が揺れていましたが、そのまま

そのまま作業を続けてしまったことが原因だと思えます。揺れが収まってから作業するなり、クサビを打ち込むのは止めてチルホールを使用するなどより安全に気を配るべきでした。

また今回も「かかり木」が発生したため、チルホールと滑車を使用し、かかり木処理を行いました。チルホールのレバー操作を裕士君にお願いしましたが、若いパワーが大いに発揮されました。(成沢)

## ○伐木作業初めて体験しました

今回、豊英島でいろいろなことを学び、経験させて頂いてありがとうございました。特に木を倒すところはとても迫力があり良い経験になりました。木にクサビを打たせてもらったときは、木が倒れる笛が鳴る瞬間までクサビを打っていて笛が鳴ると同時に逃げるのはとても良い経験になりました。枝がたくさん落ちてきて、いつ自分に降ってくるかわからないという状況でヘルメットの大切さを学びました。（中田裕士）



クサビ打ち込み

チルホールによる牽引作業

## ○今月の花

ヒメコマツ保護柵内の2株のツチアケビは順調に成長し、丸々と太った真赤な実を付けていました。そこから3mほどのところにハイゴケでしょうか、鮮やかな黄緑色の苔がふかふかと柔らかそうなドームを形成していました。

千年広場の脇や広場の北側に設置した保護柵付近のトサノクロムヨウランは例年より株数が少ないようですが蕾をつけていました。

ホテイ岬のセンサーカメラのデータ回収に向かう途中クロアゲハがひらひらと舞っていました。飛んでいる姿を撮りたかったのですがうまくいかず、枝にとまった姿を撮りました。ホテイ岬の中間あたりにあるカキノキの根元付近に青々とした実が落ちていました。庭で育てている富有柿と同じような実です、秋には食べられるかもしれません。樹高は10mほどでコナラや他の木々と樹冠の領域を争っていますがカキノキの領域は少なそうです。



ツチアケビ

ハイゴケ?

ヒメヤブラン

トサノクロムヨウラン

コナラ伐採地で確認した花は、アキノタムラソウ、ヒメヤブラン、ヤマユリです。ヤマユリは辺り一面に甘い香りを漂わせていました。

午後、福島さん、清水さん、中田さんと共にレッドデータブックAランクのホンゴウソウを探しに島の北側斜面を目指しました。前回、発見したあたりをくまなく探しましたが見つかりませんでした。3人は諦め崖を上がり始めたところ、清水さんが赤い針金状のものを見つけ、福島さんの同定で冬虫夏草（カメムシタケ）であることが分かりました。冬虫夏草を見るのはこれで2回目です。思わぬおまけにうれしくなりました。その後3人はここを離れました。福島さんはさらに西側まで範囲を広げて探した結果、10数本のホンゴウソウを見つけました。案内していただき何とか写真に収めることができました。（秋元）



カメムシタケ(福島)

ホンゴウソウ(福島)

ヤマユリ(坂本)

ヌルデの虫こぶ(坂本)

### ○今年も出ましたカエントケ

ナラ枯れの危険木処理チームからカエントケがあったと教えられました。見ると作業中に蹴られたのか、既に倒れてナラの根元に転がっていましたが、幸い踏みつけられていなかったのが原型をとどめていました。

手に取って見ると名前通りで、色といい形といいまさしく炎そのものでした。

そばで見ていた人が「ああ、それでカエントケというのですね」と命名に納得の様子。

「それにしても、素手で持っても大丈夫ですか」と心配顔でした。

触るだけで皮膚がただれと恐れられていますから当然の心配ですが、きのご観察会で専門家から大丈夫だから試しに触って固さを確かめて見るように言われた事があります。

感触はコルク栓か消しゴムのような固さでした。その後皮膚に異常はありませんでした。

この件に関しては都市伝説的な恐怖説に尾ひれが付いて流布していると思います。

形があまりに立派でしたので、別のナラ枯れ木の根元に置いて悪戯写真を撮りました。

秋になれば大発生の予感がありますから、無理に写すことも無かったとおもいますが・・・(坂本)



カエントケ

カエントケ

カエントケ(福島)

### ○豊英島散策

久しぶりの参加させていただいたのですが島全体が明るく青々として、以前より少し明るくなった感じがしました。福島さんによるとナラ枯れのせいで、林床が明るくなったせいではないかとのこと。それを聞いて大量のナラ枯れは大変ですが、従来は(人が手を入れない森なら)森林の移り変わりの過程のようなものなのかと思いました。

さらに島の散策をしていて、木の根元に大きな穴が二つ空いているのを見つけました。直径 50cm ぐらいいはあったでしょうか。それがアナグマの穴である可能性が高いと聞いてさらにびっくり!! よく見ると、掘られた土は新しく、つい最近掘られた感じがしました。外来種のアライグマやハクビシンがいる話ばかり聞いていたので、在来種アナグマがいることを知って嬉しくなりました。(中田真也子)



## ○センサーカメラの画像

今回も禁断の岬への分岐点に設置したカメラには何も映っていませんでした。千年の森便り 6月号の「対岸に向かって泳ぐシカ」と同一と思われるニホンジカの姿がCAM2に写っていました。ホテイ岬にはニホンジカが上陸しやすいような岸边があり、ダム水位が下がっているときは干潟に足跡が目撃されています。このカメラ(CAM3)をホテイ岬の先端付近に移動設置しました。次回、ニホンジカの上陸の様子がとらえられるかもしれません。

今回は夜間の記録は少なく昼間の記録が多かったです。以前、頻りにCAM1に記録されたハクビシンの回数が極端に少なくなっていることが記録数の減少につながっているようです。昼間の記録はほとんどニホンジカです。長い期間とどまっているのかもしれませんが。危険を冒してまで島に泳いで渡る価値があるようです。



カケス

ニホンザル親子

イタチ



キジ

アナグマ

キョン

設置期間：5月19日から6月19日まで

※日数は確認した日数です。同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1：吊橋着岸点付近（電池切れのため6月13日までの記録です。）

ニホンジカ	2日	昼間	キョン	1日（6月12日）	昼間
ニホンザル	5日	昼間	イタチ	1日（5月30日）	昼間
アナグマ	1日（6月9日）	昼間	キジ	1日（5月31日）	♂ 昼間
カケス	2日	昼間	キジバト	1日（5月26日）	昼間

CAM2：ホテイ岬への分岐点付近

ハクビシン	4日	夜間	ニホンジカ	24日	昼間・夜間
キョン	3日	昼間	イタチ	1日（6月14日）	昼間
ニホンザル	3日	昼間			

CAM3：禁断の岬への分岐点付近 記録はありませんでした。（秋元）

## ○コナラ伐採地の草刈りなど

ワクチン 4 回目の接種を受けたのが 7 月 16 日。接種した日は何事もなかったけど、翌日になると腕の筋肉痛がひどくなり、微熱も出たりして何となく気怠い一日でした。そして迎えた活動日の 18 日は少しだるさが残っていたけど熱も下がったので予定どおり参加してきました。

午前中は全員で竹下さんの操縦によるドローン空撮の見学、続いて島内各地点の相対照度調査を行った後、残る時間でコナラの伐採作業班と草刈り班に分かれて実地作業を行いました。

私は植生保護柵に囲まれたコナラ伐採地エリア内での草刈りを担当しました。この日のために切れそうな鎌もホームセンで購入したんだけど、長い柄のついた大鎌をお借りすることができたので、初めて長柄の大鎌でチャレンジしました。

使い慣れない大鎌でしたが、しばらく使っているうちに何となくコツをつかんできて後半は何とか様になりました。それにしても鎌での草刈りは汗だくになりますね。

エリア内の観察通路の除草作業でしたが、草刈り機で快調に除草している坂本さんを尻目に汗水流しながら大原さんと二人で手作業の草刈りを行いました。

地味な作業ですが、終わってみれば通路上の草は取り除かれ、通路からの植物観察が容易になりました。

とはいえ、夏はこれからが本番です。あと 2、3 回は除草作業をしなければならぬかな。できれば他でも使いたいのので個人的に草刈り機を購入しようかといま思案しています。購入に際してのアドバイスをいただければありがたいです。

午後は、福島さんと秋元さんにくっついて中田さんと 4 人で植物観察に参加しました。お目当てはホンゴウソウとヒナノシャクジョウ。北岸の不安定な急斜面沿いに探しましたが、あきらめの早い 3 人を残して一人福島さんだけが搜索を続行。さすがの執念で福島さんがホンゴウソウを発見されました。行って確かめたかったけど、今日はカメラを忘れてきたので福島さんに見せていただいた画像で我慢します。

私はといえば、ホンゴウソウと誤認した赤くひょろとした植物が、福島さんによって「冬虫夏草の一種ですね。」と同定されました。はじめて見たけど、キノコと虫が合体した珍しい生物なんですね。とても勉強になりました。

月に一度の活動日ですが、毎回何らかの気づきや収穫があってとても勉強になります。特に冒頭のドローン操縦の見学はインパクトがありました。次回もよろしく願いいたします。(清水)



コナラ伐採地の草刈り



草刈り機で通路の草刈り

## お知らせ

○次回活動日は8月21日(日)です。

内部講師による夏のきのご観察会と、広場のテーブルの補修作業などを予定しています。夏のきのご観察会は公開行事とする計画でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の恐れがあるため公開行事とはしません。また、今後の感染拡大の状況によっては定例活動を休止する場合がありますので、ご了承ください。

活動に当たっては、暑さ対策、ヤマビル対策、危険防止のためのヘルメットの着用をお願いします。